

報道関係者各位

**ギブン・イメージング社発表  
フランス保健省が PillCam® SB カプセル内視鏡の保険収載を最終決定**

**-低侵襲性小腸疾患検査ツールがフランス国民 6,400 万人に対して保険適用となる-**

イスラエル ヨクナム、2008年11月21日：ギブン・イメージング社(NASDAQ: GIVN)は本日、フランス保健省が PillCam® SB カプセル内視鏡の保険収載手続きを完了し、付加価値税抜き 418 ユーロの製品価格を設定したことを発表しました。この決定は2008年11月21日の「Journal Officiel」で発表されました。これにより、全フランス国民 6,400 万人が PillCam® SB カプセル内視鏡に対する保険適用を受けることができるようになります。適用詳細は下記の通りです。

- ・ 大腸内視鏡検査および食道胃十二指腸内視鏡検査(上部消化管内視鏡検査)で陰性診断された原因不明の潜在性消化管出血
- ・ 大腸内視鏡検査および食道胃十二指腸内視鏡検査で陰性診断された鉄欠乏性貧血
- ・ 小腸造影検査および大腸内視鏡検査で陰性診断された小腸クローン病の疑いに対する確認

ナンシー大学病院のジェラルド・ガイ教授は次のように述べています。「臨床データにより、カプセル内視鏡が低侵襲で患者様に優しい方法であること、小腸疾患を検査するためのゴールドスタンダードであることが確認されました。この決定により、全フランス国民が小腸疾患に対する効果的な診断ツールを利用できるようになり、小腸疾患の管理及び予後の改善が可能となります。」

ギブン・イメージング社のホミ・シャミール社長兼 CEO は次のように述べています。「この保険収載決定は、我々ギブン・イメージング社にとって非常に重要なマイルストーンです。我々は、フランス保健省が小腸カプセル内視鏡の重要性を認識してくれたことを大変うれしく思います。消化器疾患を診断・治療するために、フランスの胃腸科専門医は PillCam® SB カプセル内視鏡を患者様に提供できるようになります。現在、およそ2億3,500万人の欧州人が PillCam® SB カプセル内視鏡の保険適用を受けることができます。我々はこの動きを推し進めるために懸命に働きかけしており、近い将来、他の欧州主要国でも保険適用が認められることを期待しています。」

## ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、消化管疾患を発見するための、革新的で患者様に優しい製品を開発、製造、販売することで、消化管の診断に新たな定義をもたらしています。ギブン・イメージング社のテクノロジープラットフォームは、カプセルの中に小さなカメラを装着し、患者様が嚥下する使い捨ての PillCam<sup>®</sup> カプセル内視鏡と、データレコーダ、RAPID<sup>®</sup> ソフトウェアからなります。ギブン・イメージング社では、数種類のカプセル内視鏡を販売しており、アメリカをはじめ 60 カ国以上で発売されており、これまで世界で 82 万以上の患者様が PillCam<sup>®</sup> カプセル内視鏡検査を受診しています。ギブン・イメージング社が販売するカプセル内視鏡には、小腸全体を検査することができる小腸用カプセル内視鏡(第 2 世代製品)「PillCam<sup>®</sup> SB 2」の他、食道用カプセル内視鏡(第 2 世代製品)「PillCam<sup>®</sup> ESO 2」、大腸用カプセル内視鏡「PillCam<sup>®</sup> COLON」、そして PillCam<sup>®</sup> カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか開通性をみるための「Agile™ Patency カプセル」があります。PillCam<sup>®</sup> COLON は、欧州では CE マークを取得し販売されていますが、アメリカではまだ販売にいたっておりません。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

ギブン・イメージング社の大株主は、Elron Electronic Industries (NASDAQ & TASE: ELRN)です。さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。 <http://www.givenimaging.com>

## 今後の見通し

このプレスリリースは、米国の 1995 年民間有価証券訴訟改革法の免責条項内での見通しを含んでいます。これらの見通しは、私たちのビジネス、将来の収益、経費、収益性に関する予測などが含まれますが、これらの予測に限りません。見通しは、「可能性がある」「予期する」「見積もる」「期待する」「意図する」「予定する」「確信する」といった将来を示唆する用語を伴いますが、必ずしもそうでない場合もあります。見通しは、既知および未知のリスクと不確実性および、出来事、結果、業績、状況または企業の達成事項を引き起こす可能性のある他の要因を含みますが、見通しで述べられた将来の出来事、結果、業績、状況または達成事項は著しく異なることがあります。見通しとは異なる出来事、結果、業績、状況と達成を引き起こす要因としては、下記を含みますが、下記に限りません。(1) 新製品を開発し、市場に投入する能力(2)規制当局の認可、弊社製品の販売許可、または規制環境の変化に対応できる当社の能力 (3) 当社の販売、マーケティング、生産計画の成功 (4) 特許および他の知的財産権の保護と有効性 (5) 為替レートの影響 (6) 競合他社の影響 (7) 重大な訴訟結果(8) 私たちの製品に対して政府および商業的保険者から保険収載を得る当社の能力 (9) 四半期の業績の変動 (10) イスラエルにおける武力衝突または市民または軍による騒乱 (11) 米国証券取引委員会に提出され公開されている他のリスクと要因は、Form 20-F で提出した 2007 年 12 月 31 日に終了した年次報告書に掲載されている Risk Factors (リスク要因)、Cautionary Language Regarding Forward Looking Statements (将来の業績に関する見通しの注意事項)、Operating Results and Financial Review and Prospects (営業成績と財務概況と見込み)の表題で記載されていますが、これらに記載されているリスクと要因に限りません。このプレスリリースに含まれる見通しはプレスリリースの日付時点のものであり、過度に信用を置かないようにしてください。関連する証券取引法に基づき重要情報を公開する義務以外は、企業には見通しの変更や、出来事、予期せぬ出来事の発生を公表する義務はありません。

###

注) 日本では、PillCam<sup>®</sup> SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。また国により適応が異なっています。